

## 実務研修会 「学校徴収金事務について」開催

平成29年1月13日（金）大阪市教育センター 講堂において、『学校徴収金事務について』と題し、実務研修会を開催した。

今回の研修会は、学校徴収金事務の基本となる「学校徴収金会計基準」の内容について改めて確認するとともに、年度末に向け『予算補正』『決算事務』についての理解を深め、実務遂行能力の向上を図ることを目的として行った。

研修会では、始めにウォーミングアップを兼ねて、学校徴収金会計基準に関する〇×クイズを行った。

### 一部紹介

#### 【問題】

収入金を預貯金せず、直接支払いに充てることは、予算の計画的執行及び不正防止の見地から行わないことが望ましい。

#### 【答え】×

学校徴収金会計基準 第3章 収入 4. 収支の分離に『収入金を預貯金せず、直接支払いに充てることは、予算の計画的執行及び不正防止の見地から一切行なってはならない。』と定められている。

#### 【問題】

資金前渡を受けた教職員は、資金受領後7日以内に資金前渡精算報告書に証拠書類を添付して精算しなければならない。

#### 【答え】×

学校徴収金会計基準 第4章 支出 4. 支払（5）資金前渡に『資金前渡を受けた教職員は、用務終了後5日以内に資金前渡精算報告書に証拠書類を添付して精算しなければならない。』と定められている。

その後、配付資料「学校徴収金会計基準」「年度末における学校徴収金会計事務について」を使用して、説明と事例演習を行った。

日頃、私たちが担っている学校徴収金の業務は「学校徴収金会計基準」に基づいて成り立っていることを改めて確認した。そして、学校徴収金は、学校長が保護者の信託を得て管理・執行する経費であり、有効かつ効果的な学校教育活動等に結び付けるためにも、適切な会計処理が求められ、予算編成から決算事務に至るまで、取扱いについては細心の注意が必要であることを再認識する機会となった。



# 平成28年度 第2回事務局・専門部合同研修会報告

1月26日（木）大阪市教育センターにおいて、第2回事務局・専門部合同研修会を開催した。

始めに、西尾会長からあいさつがあり、引き続き、板谷研究大会実行委員長より第24回研究大会の総括があった。その後、他府県研究大会（全事研兵庫支部・大阪府・奈良県・滋賀県・京都市）について、報告者自身が参加して感じたことなどを交えての報告を受けた。各報告後、会計業務における研修を行った。最後に、渡邊副会長より合同研修会全体についての総括があり、閉会の挨拶で研修会を終了した。

## 大阪市立学校事務連絡協議会研修会報告

平成29年2月7日（火）大阪市教育センターにおいて、大阪市立学校事務連絡協議会研修会を開催した。講師に大阪市教育センター 教育振興担当 指導研究グループ 指導主事 古閑 龍太郎 様をお招きし、「学校教育ICT活用事業」について研修会を行った。

古閑様は冒頭、『学校教育ICT活用事業』とは子どもたちの学力向上のみならず、人間性や思考力・判断力・表現力などの育成を目的とし、また、人工知能が飛躍的に発達していくこれからの時代を、生き抜いていく子どもたちを育てる学校教育であると述べられた。



その後、「学校教育ICT活用事業」の概要と、モデル校に実際に導入されている機器やアプリケーションについて説明があった。また、実際にタブレットを使用し、模擬授業の体験を行った。最後に、ICT機器を活用するために各校で購入している物品の紹介があった。本市に勤務する学校事務職員として、本市の施策や学校教育を取り巻く状況を知ることができ、非常に有意義な時間となった。

## 幹事会報告



2月23日（木）大阪市教育センターにおいて幹事会を開催した。詳細は次のとおり。

### 1 今年度の活動について

- (1) 事務局 ・会報195号、196号、パレット発行  
・会報197号と転任個人報告書を3月10日に発行予定  
・1月26日に合同研修会を実施
- (2) 研究部 ・研究大会の総括と今後の研究について ・全事研京都大会に向けて
- (3) 研修部 ・1月13日に実務研修会を開催  
・2月7日に大阪市立学校事務連絡協議会研修会を開催

### 2 第24回研究大会について ・研究大会参加のお礼、総括

### 3 補正予算について

- ・研究大会資料代や雑収入等の収入、報償費（研修会講師謝礼）、筆耕翻訳料（手話通訳料）、消耗品費（運営・活動用消耗品）等の支出に伴う予算補正について承認された。



4 会則等改正について ・会則改正（案）の配付

- ・役員等選出規程、会計規程の改正について承認された。

5 役員等選出委員会の設置について

- ・今年度、現役員等の任期2年が終了することに伴い、次期役員等の選出を行うため、会則第21条により役員等選出委員会を設置。役員等選出委員は幹事から5名選出、委員長及び委員は次のとおり。

委員長  
委員  
委員  
委員  
委員

6 業務連絡

- ・学校徴収金及び学校給食費の登録口座の内容確認等について

7 その他 ・全事研大会（京都大会） 平成29年8月2日～4日  
8月3日に行う分科会で第3分科会を市事研が担当



## 全国公立小中学校事務職員研究会 評議員会・役員研修会報告

2月16日（木）川口市民ホール フレンドィアにおいて評議員会及び役員研修会が開催された。開会行事の後、（第1号議案）平成28年度 第48回全国研究大会（山形大会）決算報告、（第2号議案）平成29年度 暫定予算書（案）について、（第3号議案）平成29年度 第49回全国研究大会（京都大会）についての全ての議案が承認された。その後、本部からの連絡事項として①活動経過報告、②今後の大会主管等について、③全事研ロゴマークの使用について、地区大会への文部科学省の講師派遣等について、その他事務局からの諸連絡、④情報推進部からの各調査について、学校財務ウィークポスター写真募集などの諸連絡、⑤研究開発部より京都大会分科会の提案概要について、50周年記念全国研究大会（千葉大会）の開催についての諸連絡が行われた。午前の最後には平成30年に開催が予定されている千葉大会について松本実行委員長よりプレゼンテーションが行われた。

午後は役員研修会として、「学習指導要領改訂の動向について」と題し、文部科学省初等中等教育局 教育課程課 堀家 健一 様より文部科学省行政説明が行われた。今年度末に改訂が予定されている新しい学習指導要領等について、めざす姿や方向性、学習指導要領等の理念を実現するために必要な方策などについて、事例などを踏まえてわかりやすく解説された。

次に、前田全事研研究開発部長より「全国研究大会（分科会）の『意義』と『ねらい』」と題して千葉大会分科会運営研修会が行われた。千葉大会におけるテーマは「学校組織開発」であり、学校組織における課題や集団と組織との違いなどについて、全国研究大会の意義とねらいなどが説明された。その後、支部間の意見交換や評議員会全体の質疑応答が行われ、評議員会・役員研修会は閉会した。

# 平成28年度 全国公立小中学校事務職員研究会セミナー報告



2月17日（金）東京都北区北とびあ さくらホールにおいて全事研セミナーが開催された。開会行事の後、文部科学省 初等中央教育局財務課 課長 矢野 和彦 様より文部科学省行政説明が行われた。学校現場における業務の適正化に向けて、「教員の働き方を改革し、教員の担うべき業務に専念できる環境整備をめざす」「部活動の適正化を推進し、部活動の負担を大幅に減らす」「国・教育委員会の支援体制を強化する」という三つの柱を中心とした取組を力強く進めていくと述べられた。「次世代の学校・地域」創生プランの実現に向けては、教員が、教科指導・生徒指導・部活動指導等を一体的に行う「日本型学校教育」が国際的にも高く評価されているが、次世代の学校指導體制の在り方には多くの課題があり、それらの改善・充実が必要である。チーム学校で、学校教育力をどのように上げていくかということが必要であると締めくくられた。



午後からは全事研活動報告の後、「地域特性を生かした学校運営協議会のつくり方～類型化から見るその特徴と成功のポイント～」と題し、NPO法人スクール・アドバイス・ネットワーク 理事長 生重 幸恵 様より講義が行われた。これからの教育は、今までの教育から知識を実社会で応用させるためのリテラシーや多様で多角的な視点を持つといった教育に変容していくため、主体性を持ち、多様な人々と共同しながら学習する態度などの真の学ぶ力、つまり「変化の中に生きる社会的存在」として力をつける必要がある。そのためにはキャリア教育の推進が重要であると述べられ、これからの教育の現場と一緒に作っていききたいと締めくくられた。

続いて、新潟大学 教職大学院 准教授 雲尾 周 様より「学校と地域の連携・協働に果たす事務職員の役割」と題し、講義が行われた。学校と地域をつなぐために、Give & Takeの関係からWin・Winの関係になる必要がある。地域による多様なニーズを見つけて協働し、どんな学校にしていきたいかということを念頭にこれからも取り組んでいってもらいたいとの言葉で閉会した。

# 近畿公立小中学校事務職員研究会セミナー報告



1月19日（木）大阪府教育会館（たかつガーデン）において、「創造しよう！学校事務の新世紀を」をテーマに、近畿公立小中学校事務職員研究会セミナーが開催された。開会行事の後、各支部の活動報告や、全事研京都大会に向けた取組等の発表があった。その後、「学校財務を切り口とした地域とともにある学校づくり」と題して、新潟市立東山の下小学校 事務主幹 松野 千恵美 様より講演が行われた。

始めに、新潟市における学校事務を取り巻くこれまでの経過と現状について、職階制度・組織体制・職務内容・めざす職員像・研修制度等の詳細な説明があった。続いて学校経営ビジョンの実現に向けては、経営資源を活用した学校マネジメントが必要であり、学校事務職員が学校経営に参画することで「戦略的学校経営」を行うことができると述べられ、そのためには様々な財務情報のグラフ化などによって現状認識の数字的裏付けを行うこと、課題解決に向けて予算の重点化を行うこと、校内での意思統一に向けて文書管理システムの構築などの情報管理を行うことなどが必要であると述べられた。また、財務を切り口として教職員と協働していくためには予算編成方針を提示すること、学校予算立案を教育活



動の計画と一緒にすること、財務に関する研修と情報提供を行うこと、「コラボレーション」と「シェア」による協働を意識すること等に加えて学校財務の「見える化」が必要であると述べられた。特に教員に対しては、財務運営のねらいを教育活動に結びつけて説明することが有効であるとのことであった。地域の課題が何なのかを把握し、その課題解決にむけて小さな事からじっくりと取り組むことが大切であり、地域の避難所としての学校防災に関連して、校内の打合せ会への出席、避難経路や危機管理体制の確認、緊急物資の在庫確認などを行い、共同実施グループにおいても防災の研修を行っているなどの実践報告を紹介された。学校事務職員と地域との関わりについては、会計や実績報告の確認だけというような関係ではなく、自校と地域を理解し、語れる学校事務職員をめざし、様々な人をつなぎ、自分もいきいきと仕事を学校事務職員でありたいと述べられた。講演の最後には「自分が実践出来ることは何かを日頃から意識して仕事を行うことで、多くの学校が元気になることを望んでいる」と話を締めくくられ、質疑応答の後セミナーが閉会した。

## 平成28年度 神戸市立小学校事務研究大会報告



平成29年2月9日（木）神戸市総合教育センターにおいて、「子供の学びと育ちを支援する学校事務」をテーマに、平成28年度 神戸市立小学校事務研究大会が開催された。

開会行事の後、全体会では、『『KOB Eあじさいプラン』のさらなる発展をめざして』と題し、研究委員会の発表があった。神戸のためのグランドデザインとは何かを探り、それを目に見える形にして、達成するために求められる学校事務職員の能力について実践報告があった。めざすべき学校事務職員について、①「学校運営に参画する」②「企画・立案し、それを実現する」③「人材育成を積極的に進める」④「仕事に対して責任と誇りを持つ」ことを挙げ、学校の課題や学校事務職員の経験年数などに応じた実践を主体的に考える方法を探ることが、これからの課題なのではないかと述べられた。そして、自分自身または所属校の課題を発見し、それを解決していくための手立て（実践）を考える力を身に付ける「アクティブ・ラーニング型研修」が、KOB Eあじさいプランを定着・浸透させていくことへのアプローチであると述べられた。また、KOB Eあじさいプランを実践する学校事務職員の「自己啓発研修（ケースメソッド研修）」の実践と検証の報告や、「自己分析ワークシート」を紹介し、教育活動の日々の事象の中から問題点を見つけ出し、その対策を発見する行動こそ「神戸の教育を支える学校事務」をめざす学校事務職員の姿ではないかと述べられた。

その後、助言者として神戸市総合教育センター 学校事務指導担当主事 小河 和美 様、神戸市小学校長会 副会長 小坂 明 様をお迎えし、客観的に自分の仕事を分析し「強み」を発見するために、マンダラチャートを活用したグループ討議が行われた。「学校や仲間に寄り添うこと」「新たな価値を創造すること」「管理職との協同運営意識を持つこと」「成長の意識を持つこと」等をテーマに、自分にとって出来ることについて、アイデアを出し合い、各グループから発表があった。



最後にまとめの会では、私たちは総合的に様々な力を使って仕事をしており、それぞれの能力を同じように高め、バランスをとるために、「自分の中で今持っている強みは何だろう？」「欠けている能力は何だろう？」ということを考え、知っていくことが重要であると話された。これからの学校事務職員は、自分自身で学び続けながら時代の変化に対応していくことが求められ、現状に満足することなく、変革を恐れず自信を持って積極的にKOB Eあじさいプランを実践していかなければならないと締めくくられた。

# 大阪市立小中学校事務研究会

## 平成29年度 総会

平成29年5月26日（金） 場所：港区民センター

詳細は後日お知らせします。ご予約ください。

NEW

市事研のホームページが新しくなりました！！

ぜひ一度、アクセスしてみてください！

<http://www.y1.x312v.smilestart.ne.jp>

### 専門部員募集

研究部・研修部では部員を募集しています。

興味のある方は 住之江区 住吉第一中学校

大舌までご連絡ください。（TEL06-6678-0101）

### 編集後記

記事にもたびたび登場しますが、第49回全国公立小中学校事務研究大会京都大会まであと5カ月となりました。近畿で開催されるのは平成17年度第37回兵庫大会以来12年ぶりとなります。12年前の自分が何を考えて何をしていたのなかなか思い出すことができませんが、学校を卒業して新たな道を歩いていく子どもたちと同じように、今の自分で新たな気持ちで参加したいと思います。

少し早いですが、夏の予定としてぜひ今からカレンダーにご記入ください（O）

